

事業所名

小規模共生ホームひらすま児童発達支援事業所

支援プログラム

作成日

2024年

7月

27日

法人（事業所）理念		「誰もがその人らしく、地域で」 地域の様々な人たちのニーズに合わせて柔軟にサービスを提供します。地域づくりに参加します。								
支援方針		障がいの有無に関わらず、全ての子どもたちが自分らしくのびのびと過ごすことができるよう、様々な年齢の様々な特性を持つ人たちと共に過ごし、社会性をはぐくみながら、自信に繋げたり生きる力を身に付けます。								
営業時間		9時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	来所時の検温や顔色の観察、言動から健康状態を把握します。体調の変化があれば受診を促す、保護者へ報告する等適切に対応します。 挨拶の仕方やお願いの仕方など、人との関わりの中で必要となる生活スキル教えます。 来所時には、手洗い、食後には歯磨きを促します。手洗いが難しい場合は、清拭や手指消毒を行います。 食事の後やトイレの後など、身だしなみの整え方を教えます。 遊びの後には、お片付けができるよう声掛け・支援します。 楽しく食事ができるよう、咀嚼・嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援を行います。								
	運動・感覚	靴の着脱、手洗い・うがい、排泄、食事など日常生活の基本的動作を確認して、改善や習得、筋力の維持・強化を図ります。 椅子や机、座布団、バギー等を用いて、自然と正しい姿勢で「座る」が行えるように支援します。 散歩や室内での軽い運動、音楽に合わせて手遊びや身体を動かす遊びを通じて五感を最大限に生かすことが出来るよう支援します。 感覚に特性のある児へは、静かな環境で過ごせるように配慮します。必要に応じて、個室で対応します。 自力での移動や歩行、車椅子による移動など日常生活に必要な移動能力の向上のための支援を行います。								
	認知・行動	カレンダーで日付を確認します。 言葉での説明の理解が難しい場合は、活動の内容や時間をイラストにして、手順を目で見えて理解できるようにします。 感覚や認知の偏りなど個々の特性に配慮します。必要に応じて刺激となる物を置かず、行動障害を予防します。 花見やお祭りへのお出かけなど、季節の変化を感じられるようなところへ出かけます。 ブロック遊びにより空間把握の認知を形成します。								
	言語 コミュニケーション	個々の児童の発達段階に合った言葉を用いて声掛けします。 必要に応じてイラストや身振り手振り、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションを用いて相互理解をはかります。 絵本の読み聞かせやテーマに沿った会話により言語の獲得や聞く力を育てます。 自分の気持ちを表現できるよう、個別に声掛けをしマンツーマンで接する時間を作ります。								
	人間関係 社会性	様々な年齢の人と共に過ごし遊ぶことで、複数の物の見方を養います。 スタッフが見本となる行動をとり、その様子を見て感じる事ができるよう環境を整えます。 トランプやすごろく等の勝ち負けのある遊びを通じて、ルールを理解する力、言葉を理解する力、他者と協調する力を養います。 スキンシップ遊びを通じて愛着を形成します。 公共施設等での室内外遊びを通じて社会性を養います。 地域と共同で行うイベントに参加し地域と交流を持ちます。								
家族支援		兄弟を含めた子育てに関する困り事の相談にのります。 他の保護者や地域の方との交流の場として座談会を開催します。 子育てや障害に関する情報提供します。				移行支援		障害の有無に関わらず様々な年齢の人との関わりを持ちます。 学校や保育園等と連携を取りながら支援します。 地域のイベントなどを通じて地域と交流を持ちます。		
地域支援・地域連携		近所の公園など、地域の社会資源を積極的に活用します。 見学やボランティア、実習生等を常時受け入れることで交流の場を広げます。				職員の質の向上		毎朝、支援にあたる前に支援内容や児童の特性について話し合う時間を持ちます。 定期的に職員研修を行います。		
主な行事等		誕生日には個別に誕生会を開いています。 ひな祭り、七夕、クリスマス会など季節の行事を利用者さんの特性やニーズに配慮しながら行っています。 地域住民にも参加を募ってもちつき大会を行っています。								